

『風と花』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

「まちづくりは人づくり、地域の子供は地域で育てる」

地域教育「明日の風」

北都留地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会

○日時 6月27日（金）13:30～16:30

○場所 上野原市「もみじホール」

○定期総会

- ・昨年度の事業報告、会計報告、監査報告
- ・本年度の役員、事業計画についての承認

○活動発表

- ・『神社再建を中心とした丹波山村での活動』

発表者：丹波山村郷土民俗資料館

学芸員 寺崎 美紅 氏

・内容

丹波山村にある七ツ石神社との偶然の出会いから始まった神社再建物語。ドキュメンタリー映画になりそうな運命的な内容と先生の軽妙な語り口に多くの参加者が引き込まれていきました。

○講演会

- ・『子供の自己肯定感をどう高めていくか』

講師 山梨大学教育学部准教授 田中 健史朗 氏

・内容

映画「魔女の宅急便」や最近の流行歌を取り上げながら、非常に分かりやすく『子供の自己肯定感を高める大人の関わり方』についてご講演いただきました。多くの参加者から、「もっと詳しく聞きたい!」「保護者と一緒に聞いて同じ目線で子育てしたい!」など絶賛の嵐でした!

○参加者の感想

「寺崎さんの丹波山愛、神社愛を感じました。神社再建、絵本作りと、「好き」が自分だけでなく周りの人も動かし、丹波山村を盛り上げていると感じました。素敵なお話ありがとうございました。」

「田中先生のお話を聞いて、子供の見方、捉え方など大変参考になりました。Doing も子供たちにとって大切なことですが、子供たちがありのままにいられる Being とのバランスが重要だと思いました、学校の先生方もですが、保護者にも聞いてもらいたいお話だと思いました。」



総会の様子



総会出席者から貴重なご意見を頂きました



活動発表をしていたいた 寺崎 美紅 氏



30分が一瞬に感じられる内容でした!



講演会講師 田中 健史朗 氏



非常に工夫され分かりやすいパワーポイントでした



著名な映画や唄を取り入れるなど難しい内容を易しく理解するための工夫がたくさん!



質疑応答も止まりません!

子供たちの教育は地域全体で担う!!

南都留地域教育推進連絡協議会

総会・講演会

開催

○日時 6月18日(水) 13:45～16:00

○場所 勝山ふれあいセンター

○定期総会

- ・昨年度の事業報告、会計報告、監査報告
- ・本年度の役員、事業計画についての承認

○講演会

- ・「地域で育む乳幼児期からの育ちと学び
～地域全体で「架け橋期」を大切に～」
- ・講師 山梨大学教育学部教授 大野 歩(あゆみ)氏
- ・内容

「交流」「連携」「接続」という用語の正確な意味の解説から始まり、従来のアプローチ/スタートカリキュラムによる接続から架け橋プログラムへの発想の転換など、「架け橋期」の子供への大人の関わり方や協働の具体的な方法についての提言など、大変学びが多いご講演でした。

- ・参加者の感想

「子供たちの『学びの根っこ』を作る大切な時期を寄り添いながら見守りたいと思います。そんな子供たちの架け橋期が上手く繋いで行ける様に、地域全体で支えていきたいと思いました。」「中学校や高校の教員に対しては直接関係が無いように考えられがちだが、子供たちの発達の観点からもぜひ知っておいてほしい内容だと思いました。」



総会の様子



地推協の事業について忌憚のない意見交換が行われました!



穏やかな口調でお話しする大野先生



講演会の様子



大野先生の話に熱心に聞く参加者



質疑応答も積極的に行われました!

各種 連携会議 ～子供の教育は「縦」と「横」の連携から～

1 中高連携連絡会議

○日時 6月16日(月) 10:30～11:30

○場所 都留興譲館高校会議室

○出席者 都留市、西桂町、道志村の中学校・高等学校の校長

○会の趣旨

- ・地域の実態にあった中学教育と高校教育の効果的な連携を探ると共に、一層の理解と推進を図り具体的な取組を検討するために実施される会議です。

○出席者の意見や感想

「各校の様子がよく分かりました。少子化が進む中、5年後10年後を見据えて地域でどのように子供たちを育てていくのか、忌憚のない意見交換ができた意義はとても大きいと思います。」「中学校と高校ではまだまだお互い知らないことが多いかと思います。疑問に思ったことなど、率直に質問し合える関係づくりが大事だと思いました。特に中学校の進路指導において、生徒や保護者に正確な情報を提供できるよう、高校との情報交換を積極的に行っていきたい。」

校長先生同士が率直な話し合いができる貴重な機会でした

今年度中にそれぞれの疑問解決のための仕組みづくりを検討する方向で会を閉じました。



2 富士吉田市幼保小連携担当者連絡会議

○日時 6月16日（月）15:30～16:30

○場所 南都留教育会館

○出席者

富士吉田地区の保育園、幼稚園、こども園、小学校の先生方など

○主な内容

- ・年間行事予定をもとに交流の計画作成
- ・グループに分かれての課題検討や情報交換会

○出席者の意見や感想

「目の前の児童を指導する際に、園でどのような指導をされてきたのかしっかり把握しておくことが大切だと思いますので、園の先生方と直接意見交換ができるこの会議はとても大切だと思いました」（小学校教諭）「小学1年生が感じるギャップを少しでも減らすために、園としてどのような指導を行うのが適当なのか検討できるすごく良い機会となっています。ここで学んだことを現場に生かしたいと思います。」（幼稚園教諭）



円滑な接続に向けて、校種の垣根を越えて、積極的な意見交換が行われました。

3 富士吉田地区小中高連携連絡会議 第1回養護教諭部会

○日時 6月3日（火）15:30～16:30

○場所 南都留教育会館

○出席者 富士吉田地区の小中高支援各校の養護教諭

○主な内容

- ・年間活動計画の検討
- ・グループ討議
- 「保健室経営の現状と課題」「児童生徒の多様化への対応」

○参加者の感想

「異校種の保健室の現状を知れるとても貴重な機会となりました。本日学んだことを自校の問題解決に役立てたいです。」（小学校）

「長年参加していますが、異校種の先生方と顔をつなぐとてもよい機会だと思います。また、一人一人の子供の指導を継続的に行うために必要な連携がとれる大切な会議だと思います。」（中学校）「校内では同じ立場で意見交換できる機会が無く悩んでいたこともあったが、小中の先生とお話できてとても気持ちが楽になりました。」（高校）



グループ討議の様子。異校種の取組に興味津々!

4 富士吉田地区小中高連携連絡会議

○日時 5月30日（金）16:00～17:00

○場所 下吉田コミュニティーセンター

○出席者 富士吉田地区の小中高支援各校の校長（教頭）

○主な内容

- ・年間活動計画の検討や小中高連携に関わる意見交換
- ・意見交換の主な内容
- 「不登校の現状、登校できない（教室に入れない）子供への対応」「フリースクールとの連携」「校則の問題」「進路や進学、キャリア教育」

○参加者の感想

「子供たちへの指導は“つながり”が大事だと思います。異校種間にあるギャップに苦しむ子供を減らすためにも、それぞれの校種でどのような取組をしているのか知れるこの会議の存在意義はとても大きいと思いました。」（小学校）「普段小学校の実情を知る機会が無いので、いろいろお話が聞けてありがたかったです。また、富士吉田市全体で子供を育てようという熱い想いが感じられる会議でした。」（高校）



異校種の先生との意見交換ができる貴重な時間

5 未来を拓く！高校生インターンシップ推進事業 地域連絡会議

○日時 5月13日（火）14:30～16:30

○場所 山梨県総合教育センター

○出席者 県労働局、県中小企業団体中央会、ハローワーク、県働く人・働き方支援課、県高校教育課、教育事務所、各高校進路指導担当など

○全体会の主な内容

- ・ R 6 の実施状況報告、R 7 の事業計画
- ・ 県労働局、県働く人・働き方支援課より最新の就労状況について説明

○地域連絡会議（富士東部地区）の主な内容

- ・ 各校のインターンシップ等の実施状況の報告
- ・ インターンシップの意義や運営のあり方についての意見交換
- ・ ハローワーク担当者より地域の就職状況とインターンシップを有意義にするためのアドバイス

まとめ：多くの高校生に山梨の仕事の魅力について知ってもらう取組を！



積極的な意見交換が行われました

6 南都留特別支援教育研究会

○日時 6月26日（木）15:00～16:50

○場所 勝山ふれあいセンター

○研究会の主旨…特別支援学校の先生のサポート受けながら、南都留地区の小中学校で特別支援学級を担当している先生方の資質向上を目的とする研究会

○出席者 南都留地区の小中学校で特別支援学級を担当している教諭

○助言者 ふじざくら支援学校 小山ひとみ先生、勝俣 葉月先生、池谷 健先生、白鳥 瑞葵先生
やまびこ支援学校 野澤 健太先生、久嶋 理恵先生

○内容

- ・ テーマごとに3～4人のグループに分かれてのディスカッション形式で情報や意見を交換しました。
- ・ 各自が普段の指導で抱えている悩みを持ち寄り、他者に相談する形で話し合いを進めました。
- ・ 他の先生の効果的な取組や助言者からのアドバイスで悩みが解消され、自校に戻ってからの指導に生かすことができるのが、この研究会の大きな意義となります。

○出席者の声

「同じ悩みをもった先生方の実践や工夫、授業の様子などが聞けてとても勉強になりました。また、支援学校の先生にも話し合いに加わっていただき、アドバイスをいただけたことがとてもありがたかったです。」

「他の学校の先生と悩みなどを共有し、どのように対応したらよいか一緒に考えることができ、大変ありがたかったです。今後の見通しを持つことができました。」

7 南北都留教育相談ネットワーク会議（第1回：講演会）

○日時 7月2日（水）14:00～16:30

○場所 南都留合同庁舎4F大会議室

○会議の目的 相談事例に関する情報や認識の共有化を図り対応を支援し合ったり、研究・学習活動を通じてそれぞれの得意領域や専門性を学び合い活用し合ったりする

○今回の内容

- ・ 山梨大学教育学部准教授 田中 健史朗 先生を講師にお招きし、「援助スキル～援助者に必要な3要因～」をテーマにご講演頂きました。
- ・ ①支援目標の合意形成・協働 ②共感 ③協力できる良好な関係 の3要因について、具体的な事例を挙げながら、いつも通りの大変わかりやすい講演となりました。

○出席者の声

「理論を裏付けする興味深い実験を紹介してくれるため、すごく説得力があるお話でした。具体的に子供たちにどう向き合えばよいのか大変よく分かりました。」

「問題解決のために必要なさまざまな”連携”を図る上での重要なポイントについて教えていただいたのでとても参考になりました。」



講演会の様子



今号2度目の登場となる田中先生。県内の講演会で引っ張りだこの人気講師です！本当に面白い、そして何より分かりやすい！

銘楽堂 presents 芸術鑑賞会

○日時 6月23日(月) 13:45～14:55

○場所 小菅村民体育館

○対象 小菅小中学校、丹波小中学校4校の全校生徒

○出演者 『フラワービート』

山本晶子氏、小林正人氏、五味俊也氏

○主要内容

- ・マリンバとピアノによるクラシック音楽演奏『剣の舞など』
- ・小太鼓の超絶技巧や、台所器具を使つての演奏
- ・子供たちの参加による演奏。ボディーパーカッション、紙を楽器にしてみよう！など

○子供たちの感想

「音の迫力にびっくりしたけどすごく楽しかった！」(園児)「太鼓やマリンバをすごく速く叩いたり、歌にあわせて演奏したりすごいと思いました。」(小学校低学年)「音楽を聴くのが好きで、『剣の舞』を聴いた時は、心が踊りました。すごく楽しかったです。」(小学校高学年)「あまり楽器に興味が無かったのですが、今日の演奏を見て自分でも楽器を演奏してみたいくなりました。ありがとうございました！」(中学生)



五味氏(左)、小林氏(中)、山本氏



鍋やしゃもじが立派な楽器に大変身！



ボディーパーカッションで大盛り上がり！



子供を盛り上げるのがお上手！



「紙も楽器になるんだ～！」



演者と聴衆が近すぎます(笑)

富士河口湖町 『第1回 交流運動会』

○日時 5月24日(土) 9:00～13:00

○場所 富士河口湖町市民体育館

○主催者 富士河口湖町

○内容

- ・移住者が多くなっている中で、地域での交流が少ないという課題の解決のため、今年初めて開催されました。
- ・長年住んでいる地域住民の他に、留学生や移住者などの0～70歳の参加者約80名が、赤白に分かれて様々な競技を通して交流を図りました。
- ・運動会後は、富士河口湖町中央公民館に場所を移し、食生活改善推進委員会の皆様が振る舞う“ほうとう”に舌鼓を打ちながらさらに交流を深めました！

○参加者の感想

「新しい友達を作りたいと思い参加した。スポーツが好きなので、みんなで体を動かさせてとても楽しかった。」(アメリカからの留学生)「特に綱引きが楽しかった。富士河口湖町は人が優しくとてもいい町ですね。」(ネパールからの留学生)

「来たばかりでつながりを作りたいと思って参加した。とても楽しめた。第1回だったとはとても思えない素晴らしい運営でした。次回もぜひ参加したいです！」(移住者のご夫婦)



玉入れの様子



「気持ちを一つに！ソ～レ！」



子供もたくさん参加してくれました



「絶対勝つぞ！」「オー！」



最後はみんなで記念撮影

開地保育園 『開地フェス』

開地保育園



@KAICHIHOIKUEN

○日 時 5月17日(土) 9:30~15:00

○場 所 開地保育園敷地内

○主 催 開地保育園

○内 容

・雨天にもかかわらず、卒園生やその家族、地域の子供たちや大人など、多くの参加者で賑わっていました。

・お店は、保護者が出店する小物店や銅板制作ブースのほか、地域のおにぎり店やカレー屋、子供用衣類のフリーマーケットなど、バラエティに富んでいました。

・園に併設されている介護施設では、体におもりを身につけたり視界が狭くなるゴーグルをつけたりして高齢者体験ができるようになっていました。母親から子供に「おじいちゃんおばあちゃんは、体の自由がだんだんきかなくなって、普段の生活がとても大変なんだよ。何か一緒にできるといいね。」と話している様子も見られました。

○参加者の感想

「様々な年代や立場の方々がこうやって集まることは本当に楽しい。地域の行事が徐々に減っている中で、このつながりを大切にしたい。」(来場者)

保育園を舞台として、様々な年代の地域住民が交流を図れるとても素敵なフェスでした！

開地保育園のインスタはこちら →
イベント情報などおぼろす！



たくさんのお店が並ぶ「かいちの駅」



来場者であふれかえる会場



地域の方々の出店もありました！



古着のプリマも活況でした！



介護体験会場



「お年寄りはいないんだなあ〜」

明日の風 アスリート実技講習会

今後の予定 9月20日(土)・11月1日(土)
2月14日(土)・3月7日(土)

第1回

○日 時 4月29日(火・祝) 9:00 ~ 12:00

○場 所 大月市民総合グラウンド

○参加者 北都留地区の小学生36名

○種 目

・走り高跳び ・走り幅跳び ・ジャベリックスロー
・100m走 ・60mハードル ・長距離走 ※2種目選択

○内 容

・主に富士・東部地区の小学校の先生が講師を務め、各種目の指導にあたってくれました。非常に的確な指導で、子供たちの記録も回数を重ねるごとに伸びていきました。

○参加者の感想

「自分ではうまくできないことがありやめてしまうことがあったのですが、この講習会では先生が丁寧に教えてくれるので、諦めずに頑張ることができました。また参加したいです。」(小学生) 「自分は運動が苦手で、子供に教えてあげられないので、こういう機会があるのはとてもありがたいです。」(保護者)



「こうやってみよう！」



子供たちと話し合いながら練習しました



丁寧な個別指導も！



ハードルなど専門的な指導もバッチリ！

第2回

○日時 6月14日（土）9:00～12:00

○場所 大月市民総合体育館

○参加者 北都留地区の小中学生46名

○主な内容

- ・今回は『桃太郎SC』との共催でした
- ・5種目の記録会が行われました
 - ① 30mダッシュ ② 30mハードル ③ 立ち幅跳び
 - ④ 立ち5段跳び ⑤ 走り高跳び
- ・全員参加リレー（折り返し方式）
- ・トランポリンとミニトランポリン体験&ストラックアウト

○参加者の感想

「トランポリンは初めてだったけど、コーチが『上手だね!』とか優しく教えてくれたのでとても楽しくできました。またやりたいです!」（小学生）「30mハードルやダッシュ、そして最後のリレーと、みんなと一緒に走るのがとても楽しかったです!」（小学生）
今回の講習会は記録計測が主な内容でした。子供たちが全力を出せるように指導者が寄り添いながら指導に当たっている姿がとても印象的でした!



30m ハードル



立ち5段跳び



ミニトランポリン、すごいジャンプ力!



非日常を味わえるトランポリンが人気!



子供を飽きさせない工夫が随所に!



やっぱリレーは大盛り上がり!

上野原市社会福祉協議会 第2回制服おゆずり会

○日 時 3月16日（土）10:00～14:00

○場 所 上野原市総合福祉センターふじみ

○主催者 上野原市社会福祉協議会（社協）

○協 力 新一区アシスト会、とんびの会、子供広場ごんぎつね、大目若葉会、まちなかの会 他

○内 容

- ・社協で事前に回収した制服や体育着、通学バッグなどの学用品を希望者に無料でおゆずりしました。
- ・おゆずり会に向けてのアイロンがけや陳列準備、当日の顧客対応はボランティアの方々にご協力いただきました。
- ・男子の制服が足りなくなってしまったので、今後は男子の制服を提供していただくことが課題とのことです。

○主催者の声

「3月に開催するのは初めてでしたが、卒業したばかりの中高3年生の制服をたくさん提供していただき本当にありがとうございました。また、ご利用いただいた方にも満足していただけたようで、地域の皆様方のためにまた実施したいです!」

○利用者の声

「制服はすでに注文してあるのですがスペアとしていただきました。何着も買うのは経済的に負担が増えるので、このような会があるととても助かります。毎年実施してください!」

社会福祉協議会の発案によるおゆずり会も2回目を迎えました。担当者からは、この取組が地域に根付くまで粘り強く活動を続けるとの力強いお言葉をいただきました。多くの人にとってWIN-WINなこの素晴らしい活動を今後も応援していきます!



会場の様子



制服回収に多くの方が賛同



ボランティアの方々が大活躍!



体育着もありました!



「サイズが合う制服あるかな?」



「これいいんじゃない?」

東桂中学校PTA『キャリア教育&プール清掃』～新たなPTA活動～

○日 時 6月9日(月) 13:20～17:20

○場 所 東桂中学校体育館、プール

○参加者 富士学苑中学高等学校ジャズバンド部
プール清掃保護者ボランティア15名 ほか

○内 容

・東桂中学校では今年度より「地域とともにある学校づくり」の一環として、PTAの組織を大幅に改編し、保護者の自主性と自律性を大切にしたいPTA活動を目指しています。

・今回は富士学苑ジャズバンド部を招いてのキャリア教育を含めた演奏会とプール清掃が行われました。

・企画、準備、当日の運営まですべて保護者の手によって行われました。

・特にプール清掃では、PTA会長の佐山さんと清掃リーダーの尾上さんが中心となり保護者のボランティアを募り、約2時間の清掃活動を行いました。業務用の高圧洗浄機も投入されるなど、地域をよく知る保護者のパワーを生かしプールをピカピカに仕上げました！

・三枝校長やPTA会長の佐山さんによると、学校と保護者が今まで以上にコミュニケーションを密にし、お互いが言いたいことを言い合えるようになったことで、PTA活動を大幅に改善することができたとのこと！

PTA会長佐山さんの「子供たちの教育環境をよくするためなら、保護者としてできることは何でもしたい！」という熱い言葉が具現化されたとても素晴らしい取組でした！保護者の皆さんは、学校にとって、とても強力な“パートナー”であると改めて感じさせられました！



受付も司会進行もすべて保護者が担当しました！



ジャズバンド部の演奏は流石の一言！



大森校長先生の講話が心に染みます



清掃の指示もすべて保護者が行います



たくさんの生徒が参加してくれました！



こんなに汚れていたのが →



こんなにキレイになりました(´▽`)

都留&富士五湖青年会議所

『わんぱく相撲』

都留青年会議所主催『第34回風の子興譲館 わんぱく相撲 つる場所』

○日 時 5月18日(日) 9:00～13:00

○場 所 谷村第一小学校体育館

○参加者 幼児から小学校6年生まで64名

○内 容

- ・コロナ禍も続けた青少年育成の大事なイベントです。
- ・都留青年会議所が運営し、谷村工業高相撲部OBのみなさんが相撲のルール説明や審判などを担当してくれます。
- ・各学年別にトーナメント方式で行われ、4年生以上の優勝者は、県大会に出場します。

○感 想

「(優勝して)ほっとした。2、3年と優勝していたので、4年生で3連覇ができてとても嬉しいです。」(小学生)「相撲部OBの皆様

による相撲体験教室や決まり手の実演では、体があたるときの音や技の豪快さに子供が驚いていました。」(保護者)「子供たちがルールの中で勝ち負けを経験し、成長できる機会となつてほしい」という都留青年会議所の皆様の思いが結実した素晴らしい相撲大会でした！



会場の様子



大相撲さながらの寄り切り！



迫力の決まり手実演会



「5人がかりでも動かない！」

富士五湖青年会議所主催『第24回わんぱく相撲 富士五湖場所』

○日 時 5月24日(土) 9:00～15:00

○場 所 忍野村民体育館、忍野村国体記念土俵

○参加者 小学校1年生から6年生までの63名

○内 容

- ・コロナ禍の中断を経て6年ぶりの開催でした。山梨県相撲連盟、都留興譲館高校相撲部OB、忍野中学校相撲部、富士吉田商工会議所青年部など多くの方々のご支援があり復活したイベントです。
- ・1～4年生までは体育館での総当たりによる予選を行いました。上位4名による決勝トーナメントおよび5、6年生の総当たり戦は、隣接する本土表で行われました。

○感 想

「普段は柔道をやっているのですが、先生にわんぱく相撲に誘われて参加しました。新しいスポーツに触れてとても楽しかったです。」「学校で相撲をやったことがあったので勝ちたかったけど負けて悔しかった。また参加して次は勝ちたいです。」(参加した小学生)

コロナ禍で中止になったイベントを復活させるのは並大抵のことではなかったはずです。青年会議所の皆様の子供たちの健全育成に対する想いの大きさに驚嘆した一日でした！



四股の練習もありました



多くの方が来場しました！



白熱した取組が繰り広げられました！



本土表での経験は一生の宝物！

リズムオブラブ 『心と体ヘルスアップ教室』～健康安全郷育～

○日 時 6月19日(木) 10:30～11:45

○場 所 上野原西小学校 体育館、多目的ホール

○講 師 渡辺 光美(みつみ)先生(リズムオブラブ主宰、健康安全郷育アドバイザー、防災士、やまなし大使等)

○参加者 上野原西小学校1年生26名

巖こども園 年長児14名 合計40名

○内 容

・渡辺先生は小学校の教員を務めていましたが、2001年に起きた「大阪教育大学附属池田小事件」を契機に、「自分の命は自分で守る」子供を育成するため、県内全域で健康安全郷育を広めるための社会教育活動を行っています。

・この日は、「イカのおすし体操」「助けて氷鬼」など、子供たちが体を動かしながら、自分の身を守る意識やスキルを身につけるプログラムが実施されました。みんなしっかりと大きな声で「助けて～！」と言えるようになりました！



リズムオブラブの詳細についてはコチラ→

○感 想

「いっぱいからだをうごかしてたのしかったです」(園児)「イカのおすしたいそうでしたのしく学ぶことができました」(小学生)「たすけてこおりおにで、おににつかまったあと、『たすけて！』っておおきなこえでいえたのがよかったです。」(小学生)

突然の猛暑により園児の参加が危ぶまれたのですが、上野原市教育委員会や子育て保健課の御協力を得て無事開催できました。子供たちが自分の身を守ることができるよう県内各地で活動が続いている、渡辺先生や警察の方に心から感謝です！



いつも元気一杯の渡辺光美先生！



丹田に力を入れるのがポイントです！



おまわりさんと一緒に「イカのおすし体操」



「突きに合せて声を出そう！あいっ！」



「丹田に力を入れて、... たすけて～！」



光美先生考案の「たすけてこおりおに」にみんな大声で助けて～！」



おまわりさんからも熱いお話が！



全員に任命証が授与されました

小菅中学校 『休日部活動の地域展開』 ～新たな部活動の姿～

○日 時 6月7日（土）8:30～11:30
 ○場 所 小菅中学校グラウンド
 ○参加者 小菅中陸上部7名
 ○指導者 山梨学院大学 スポーツ科学部
 1年 廣瀬 健吾 さん

○内 容

- ・走る姿勢、股関節や腕の動かし方に関するレクチャーや100m走のスタートなどの技術指導を行いました。
- ・暑い中、生徒たちの様子を細かく見ながら、水分補給の指示を出すなど丁寧な指導や声かけをしていました。
- ・褒める言葉が多く、生徒とのコミュニケーションを積極的にとり、良い関係を築いていました。
- ・タブレットで動画を撮り、一人ひとりに的確なアドバイスをする姿がとても印象的でした
- ・指導を受けた生徒達は真剣に話を聞き、意欲的に練習に取り組んでいました。

○生徒の感想

「自分の苦手なところが分かったので、これからの練習に生かしていきたいです。」「専門的なアドバイスをしてもらえてうれしかった。」「良い練習方法を教えてもらったのが良かったです。」「今回すごくためになったので、また指導に来てもらいたいです」**休日部活動の地域展開は様々な課題がありますが、今回の取組はその解決の一助となるものでした。今後は、定期的な取組につながるように、関係者をご協力して、一つ一つ課題をクリアしていくことが大切だと感じました。**



最初はお互い緊張気味でした



常に選手に寄り添って指導していました



個々の選手に適切にアドバイス



効果的なストレッチも伝授！

道志中学校・道志村保育所交流事業『七夕まつり』

○日 時 7月7日（月）10:00～12:00
 ○場 所 道志村保育所
 ○参加者 道志中学校3年生7名
 道志村保育所 年長10名、年中6名、年少4名、未満児10名

○内 容

- ・中学生が家庭科（保育分野）の授業の一環で、保育所での実習に参加しました。
- ・7月7日ということで、「七夕まつり」として実施し、中学生は様々な準備を重ね、園児との交流を図りました。
- ・中学生が事前に製作したオリジナルのパズルで遊んだり、絵本の読み聞かせを行ったりして、園児との距離を縮めようと奮闘していました。
- ・全員多目的ホールに移動して行われた「七夕まつり」では、中学生が人形劇で七夕の由来を伝える一方、園児は一生懸命練習した踊りを披露しました。
- ・最後は「流しそうめん」が行われ、中学生が園児の食事を一生懸命サポートする姿がとても印象的でした。

○中学生の感想

「“人見知り”について知ってはいましたが、実際に泣いたり嫌がったりする園児と接することでしっかり学ぶことができました。」「流しそうめんの時、年が上がるにつれて箸の使い方が上手になることに驚きました。1年ごとの成長がすごいと思いました。」「教科書での学びも大事だけど、実際に調べたり体験したりすることで学ぶことも同じように大切だと感じました。」



読み聞かせの様子



中学生自作のパズルに熱中！



手作りのペープサート。園児は大喜び！



短冊も一緒に飾りました



面倒見てる？見られてる？



「上手に麺をすくえたね！」